

2023年11月 現在

Fujitsu Software

Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V10.1.0

本商品は、Interstage Charset Manager Standard Editionと連携して外字を含む日本語資源のスムーズな流通を実現するための基盤商品です。サーバアプリでコード変換や外字運用を実施する場合、または日本語資源の配付用にサーバを分散して使用する場合に本商品を適用します。本商品は、以下の機能を提供しています。

- ・日本語資源(外字、コード変換テーブル、入力用辞書)、印刷資源の配付/適用
- ・マルチプラットフォーム間のコード変換

本製品には、標準コード変換が同梱されています。

- サーバ

SPARC Servers / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Enterprise Tシリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント

- クライアント

FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント

- ・ サーバ

Solaris 11(64bit) / Solaris 10(64bit)

- ・ クライアント

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit)

1. 日本語資源(外字、コード変換テーブル、入力用辞書)の適用機能

Interstage Charset Managerで管理する日本語資源を、部門サーバ上に適用する機能を提供します。

移行または新規に作成した外字および入力辞書を、運用形態に合わせアプリケーションサーバ、クライアントに配付/適用することができます。配付手段は、本商品の配付機能、ファイル転送による配付またはSystemwalker Centric Managerによる配付が可能です。

2. 印刷資源の適用機能

アプリケーションへの動的な印刷資源の供給

Interstage List Works やHOST PRINT等の要求に応じて、動的に印刷資源(フォームオーバーレイ、フォント)を供給する機構を提供します。

また、Interstage List Creator の外字サポートを支援するために、PDF 変換時に外字データを動的に利用するための連携機構を提供します。

3. クライアントでの文字入力支援機能

Charset-入力アシストを利用することで、文字入力の際に外字を簡易に入力したり、入力文字を業務での運用文字コード範囲内に抑止したりすることができます。Charset-入力アシストには、最新のIMEフレームワーク(TSF: Text Service Framework)を採用したCharset-入力アシスト V10と、旧フレームワーク(IMM: Input Method Manager)を採用したCharset-入力アシスト V9があります。

本機能を使用するためにはクライアントライセンス(入力機能付き)が必要になります。

(1) 外字の単漢字検索(Charset-入力アシスト V9/V10)

「手書き部品」「よみ」「部首」「画数」により外字を検索して入力することができます。従来のようにコードブックを参照しながらコード値で入力する必要がありません。

(2) 外字を含む語句のかな漢字変換候補表示/入力(Charset-入力アシスト V9/V10)

各端末ごとに別途単語登録をする必要なく、かな漢字変換の入力候補として外字を含む語句も表示され、入力することができます。

(3) 入力文字コード範囲の抑止機能(Charset-入力アシスト V9/V10)

入力可能な文字を業務システムでの運用文字コードの範囲内に制限することが可能です。

(4) JEF文字入力機能(Charset-入力アシスト V9/V10)

JEF固有文字の入力ができます。JEFコード値での入力も可能です。

(5) 優先候補の切替機能(Charset-入力アシスト V9/V10)

かな漢字変換において、人名を優先して変換するモード、地名を優先して変換するモードに切り替えて使用することが可能です。

(6) 業務アプリ連携部品(Charset-入力アシスト V9)

本商品が提供するインターフェイスを利用することにより、業務アプリ上の入力フィールドにおける文字入力機能を制御することができます。

例えば、各入力フィールド毎に、変換用辞書セットを切り換えたり、フォーカスが移動した際に自動的に日本語入力を有効にする、といったことが可能になります。

(7) JIS2004文字運用(Charset-入力アシスト V9/V10)

JIS3/4水準の一部の文字(Unicodeの1面以降に割り当てられた文字)が入力できます。

4. 標準コード変換機能

クライアントまたは各種アプリケーションサーバに必要なコード変換機能を提供しています。本コード変換では、シフトJIS, Unicode(UCS2,UTF-8,UTF-16,UTF-32), EUC, JIS, JEFおよび他社ベンダコードとして、DBC-Host(IBM), JIPS(NEC), KEIS(日立)のコード変換が可能です。

1バイト系の対応定義、重複する対応定義など、これまで関数呼出しでのみ提供していた変換規則の変更を外部からも変更できるように、変換拡張定義機能を追加しました。

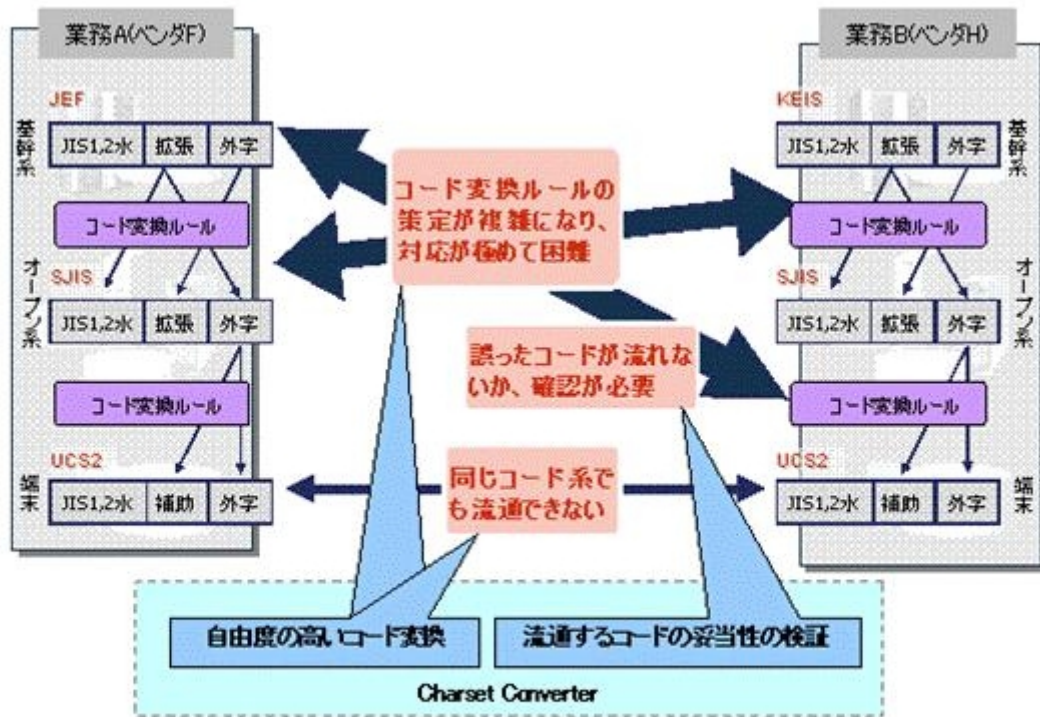
5. 拡張データ変換機能

1レコード中の数値と文字の混在したデータをレコード単位でデータ変換します。本変換機能には、数値データ変換と文字コード変換の2つの機能を持ちます。本コード変換では、シフトJIS, Unicode, EUC, JEFおよび他社ベンダコードとして、DBC-Host(IBM), JIPS(NEC), KEIS(日立)のコード変換が可能です。

6. 自由度の高い文字コード変換(コンバーター)機能

コード変換テーブルを流通のしやすい形式(CSV形式)で提供したり、同一文字コード間での変換にも対応するなど、より柔軟なコード変換機能(Charset Converter)を提供します。

業務システム間のコード変換を支えるCharset Converter



7. 入力文字コードの判定(バリデーション)機能

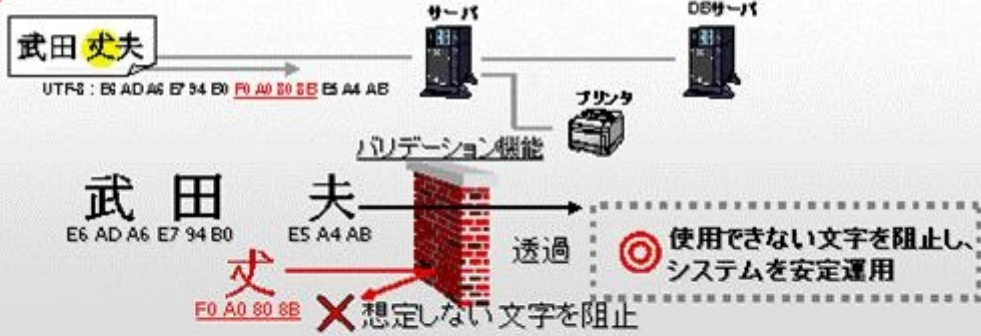
本商品を導入した業務システムにおいて有効/無効とする文字コードを定義し、それによって入力される文字が有効か無効かを判定する機能(Charset Validator)です。

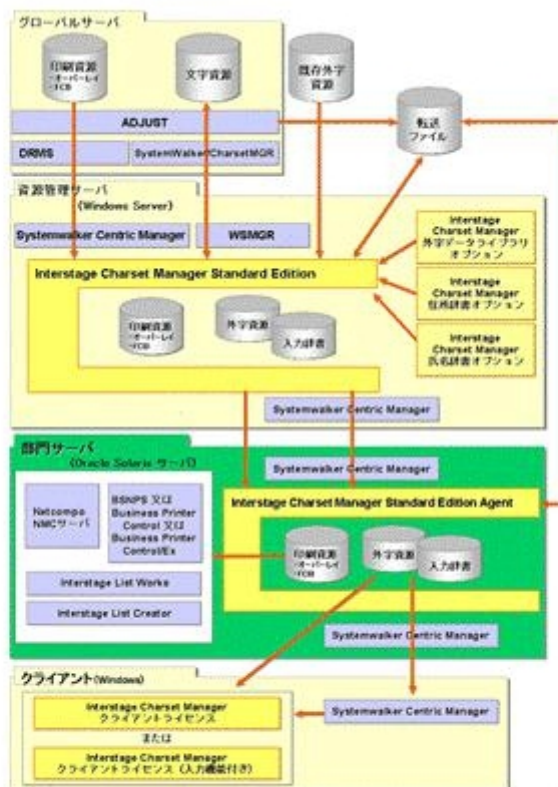
バリデーションポリシー作成機能で定義した内容を使って、バリデーションライブラリが入力された文字を判定します。バリデーションライブラリを業務システムに組み込むことによって、業務システムが想定しない文字コードを抑止するなど、適切な処理を行うことができます。

× 想定しない文字が流入すると、システムの至るところで支障が発生する可能性あり



◎ バリデーション機能を導入し、想定外の文字の流入を阻止し、システムを安定運用





文字資源(文字配列テーブル、図形文字変更モジュール、ライブラリ文字セットモジュール)は、部門サーバ(Solaris OS)にのみ流通する事ができます。

V10.0.0からV10.1.0の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. Charset-入力アシスト V10の提供

テキストサービス(TSF: Text Services Framework)に対応したCharset-入力アシスト V10を提供します。

・ オンラインマニュアル

- Interstage Charset Manager V10 概説書
- Interstage Charset Manager V10 インストールガイド
- Interstage Charset Manager V10 使用手引書 日本語資源管理編
- Interstage Charset Manager V10 使用手引書 日本語資源適用編
- Interstage Charset Manager V10 使用手引書 印刷資源運用編
- Interstage Charset Manager V10 使用手引書 標準コード変換機能編
- Interstage Charset Manager V10 使用手引書 拡張データ変換機能編
- Interstage Charset Manager V10 使用手引書 入力機能編
- Interstage Charset Manager V10 使用手引書 入力機能 IMM編
- Interstage Charset Manager V10 システム構築ガイド バリデーション編
- Interstage Charset Manager V10 システム構築ガイド コンバーター編
- Interstage Charset Manager V10 トラブルシューティング

【メディアパック】

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Agent メディアパック (64bit) V10.1.0

【ライセンス】

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Agent プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V10
- ・ Interstage Charset Manager クライアントライセンス (1年間24時間サポート付) (1クライアントライセンス) V10
- ・ Interstage Charset Manager クライアントライセンス (1年間24時間サポート付) (20クライアントライセンス) V10
- ・ Interstage Charset Manager クライアントライセンス(入力機能付) (1年間24時間サポート付) (1クライアントライセンス) V10
- ・ Interstage Charset Manager クライアントライセンス(入力機能付) (1年間24時間サポート付) (20クライアントライセンス) V10
- ・ Interstage Charset Manager クライアントライセンス アップグレードキット (1年間24時間サポート付) (1クライアントライセンス) V10
- ・ Interstage Charset Manager クライアントライセンス アップグレードキット (1年間24時間サポート付) (20クライアントライセンス) V10

本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（CD/DVD等）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。

バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおりに必要となるライセンスです。

・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサ（CODモデルの場合はCPU RTUライセンスを持つ稼働CPU）あたり1本の購入が必要です。

・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

-SPARC M12/M10では、CPUコアアクティベーションキーにより有効化されたコアの総数に特定の係数を乗じます。

-SPARC Enterprise/PRIMEPOWERのCODモデルでは、CPU RTUライセンスを持つ稼働CPU上のコアの総数に特定の係数を乗じます。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

3. クライアントライセンスについて

外字を登録する機能、外字を「よみ」や「手書き部品」から検索する機能を利用したいクライアント数分のライセンスを購入してください。

本商品のクライアントライセンスには2種類あります。運用に応じてクライアントライセンスまたは、クライアントライセンス(入力機能付)を購入してください。

・クライアントで外字を表示・印刷する場合、または外字を含む単語辞書を作成してかな漢字変換ソフトのユーザ辞書へ取り込んで運用する場合は、クライアントライセンスを購入してください。

・クライアントで「よみ」や「手書き部品」、「部首」「画数」などの属性情報を利用して外字を入力する場合、または入力可能な文字を業務の運用文字コード範囲内に抑止する運用を行う場合は、クライアントライセンス(入力機能付き)を購入してください。

4. クライアントライセンス(入力機能付)へのアップグレードについて

Interstage Charset Manager クライアントライセンス アップグレードキットを購入することにより、クライアントライセンスからクライアントライセンス(入力機能付き)に移行することができます。

Interstage Charset Manager クライアントライセンス保有数分、購入が可能です。

5. ダウングレード使用（旧バージョン商品の使用）について

本商品のライセンスでは、ダウングレード使用（本商品の旧バージョンを使用）する権利はありません。

対象のバージョンを使用する場合は、対象のバージョンに対応したライセンスをご購入ください。

6. V7.0以降からのバージョンアップについて

V7.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）また、32ビット商品と64ビット商品間での切り替えも可能です。（お客様からのご要求が必要です。）

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SE にお問合せください。

7. V6.0以前からのバージョンアップについて

V6以前の本商品をお持ちの場合は、弊社営業/SE にお問い合わせください。

8. 標準コード変換について

本製品には、『標準コード変換 1.2』の機能を包含しています。

1. 必須ソフトウェア

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition (64bit) V10

ただし、コード変換機能のみを使用する場合、Solaris版に限りAgent単体の購入が可能です。

2. 外字連携機能を使用する場合

Solaris 11の場合

- ・ 日本語拡張表示オプション 2.2.9 以降 または
- ・ 日本語拡張印刷オプション 1.2.9 以降

Solaris 10の場合

- ・ 日本語拡張表示オプション 2.2.8 以降 または
- ・ 日本語拡張印刷オプション 1.2.8 以降

3. 印刷資源の流通機能を使用する場合

Solaris 11の場合

- ・ Systemwalker Centric Manager V13.5.1 以降

Solaris 10の場合

- ・ Systemwalker Centric Manager 12.1 以降 または
- ・ Systemwalker Software Delivery 12.1 以降

4. 日本語資源運用で、Interstage List Creatorと連携して外字を部門サーバに配付・適用する場合

Solaris 11の場合

- ・ Interstage List Creator V9.3.0 以降

Solaris 10の場合

- ・ Interstage List Creator V8 以降

5. 資源配付機能を使用して、資源を配付・適用する場合

以下のいずれかのJava(64bit版)が必要です。

- ・ 富士通製Java 8
- ・ Oracle製Java 8

6. バリデーションライブラリ/ConverterライブラリのJavaインターフェイスを使用する場合

以下のいずれかのJava(64bit版)が必要です。

- ・ 富士通製Java 8
- ・ Oracle製Java 8、またはJava 11

1. クライアントで入力機能 (Charset-入力アシスト) を利用する場合

- ・日本語キーボード

留意事項

1. Windows デスクトップOS (64-bit)上での動作

本商品のクライアントは、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 10(64bit)
- Windows 11(64bit)

2. クライアントライセンス(入力機能付き)の適用について

クライアントライセンス(入力機能付き)の入力機能を利用する際には、クライアントPCで使用する日本語入力方式(IME)を本商品で提供する入力機能(Charset-入力アシスト)に切り換えて使用する必要があります。入力機能(Charset-入力アシスト)でサポートするキーボードは「日本語キーボード」のみです。

3. Solaris 10/11 OSのnon-global zoneでのSystemフォントの登録

Solaris 10/11 OSのnon-global zoneでは、Systemフォントの登録ができません。

4. 前版との差異について

V10.1.0より、以下のOSでの動作はサポート対象外となります。

- Windows 8.1(64-bit)

お客様向けURL

- **ソフトウェア：富士通（Interstage Charset Manager）**

本商品の詳細は、以下のホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/charsetmgr/>

- **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポートポリシーなどの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>